

第5次計画目標	事業名	実施日	定員(名)	申込数(名)	参加者数(名)	保育(名)	主な年代	アンケート評価・分析	まとめ
人権の尊重と男女平等意識の形成									
1	子育て中のわたしを見つめる 「子育てママのボレボレ塾2021」(6回連続講座) 10/19は公開講座のため、 後述「乳がんは40歳代がピーク?!」にて計上	9月7日、21日、28日、 10月5日、 19日(公開講座)、 26日(火)	20	11	30 (延)	15 (延)	40代:60% 30代:40%	・子育て中の同世代が集まり悩みを共有する事や先輩ママからのアドバイス等、子ども中心の生活から自分を見つめ直す良いきっかけ作りとなったようだ。 ・子育て中心の生活で、「母」「妻」「嫁」の役割に没頭し、自己と向き合う時間や習慣がないと気づくと同時に、根底に男女平等意識や女性にもある人権に気づいた事の結果は大きい。	・コロナの影響が、例年より申込者数は少なかった。 ・第1回:連続講座の内容、センターの案内等のオリエンテーション ・第2回:「子育てに役立つ整理収納」をテーマに、整理収納を学び、子育てと片付けの相関性を学習。 ・第3回:ジェンダー、女性差別撤廃条約等男女共同参画を学ぶ、Sheキャンペーン発表会のスピーチ映像を鑑賞。 ・第4回:自分の時間は自分の物と気づいて貰う為、昨日24時間の出来事を書き出すワークや、これからの自分を想像したワーク等を行った。 ・第5回:公開講座の為、後述「41.乳がんは40歳代後半がピーク?!」欄にて報告する。 ・第6回:えるでのパープルリボン運動の取り組みと、子ども虐待防止オレンジリボン運動について案内。
2	多様な性と関わる人のためのワークショップ	11月13日(土)	20	17	14	0	60代:33.3% 40代:25.0%	・小学2年生のトランスジェンダー当事者の児童が母親と一緒に参加した。(グループワークの際は母親が話しづらいかもしれないと思い、職員が会館内を案内する等自然に離席できるよう配慮した) ・「第2回の開催を希望する」「また参加したい」「もっとこういう事業を広げてほしい」という感想もあり継続実施の必要性が感じられた。	・DVDを提供してくれた団体の方から啓発活動として作成された「レインボータオルを送って頂き、参考図書と共に展示した。 ・講師の所属団体「ひきこもりUX会議」に対する質疑応答もあり、様々な背景に起因する生きづらさに対して理解が深まったと思われる。
3	ディズニー映画から考える 「わたしたちのメディアリテラシー」	7月3日(土)	20	37	30	0	60代:35.7% 20代以下:21.4%	・面白かった、理解しやすかった等の感想が多く、「ディズニー映画」を通し、ジェンダー問題を身近な問題として捉える事ができたようである。 ・回答者の半分(14名)が初めてのセンター利用で、周知に一役買った講座となった。	・ディズニー映画の若いファンも参加しており、メディアリテラシーという切り口の鑑賞は新鮮だったのか、修了後は講師と話が弾んでいた。
4	区民企画講座 「『女性は低賃金でいい』を変えよう！」	11月6日(土)	20	17	19	0	60代:40.0% 70代:33.3%	・アンケートの満足度回答が「満足」11名「概ね満足」4名、合わせて100%と、とても高評価であった。 ・参加者からも活発な意見があり、実際に労働問題に取り組む講師の話も含めて充実した内容の講座であった。	・男女間の給与格差、男女別雇用形態の割合等のわかりやすい資料があり、理解しやすさに繋がっていると思われる。 ・事前申込者は余り多くなかったが、講座当日、直接来られた参加者もあり、結果として定員に近い参加者数となった。
5	上映会えるシネサロン「最高の人生のつくり方」 (2回上映)	7月15日(木)AM・PM	各20	48 (延)	33 (延)	1	70代:41.2%、 60,80代以上: 17.6% 70代:62.5%、 80代以上:37.5%	・字幕の希望者がなく事前案内の通りに吹替上映としたが、アンケートでは字幕希望者がいた。事前の周知不足のため次回は留意したい。 ・全般的に満足な内容であったと思われる。	・公的施設が感染防止を考えながらイベントを実施したことへの支持を伝える方が多数いた。 ・上映関連の図書を資料室より教示頂き、配布資料にまとめ会場内に展示したため、通常より図書・資料室の利用が多かった。
6	お父さんと作るおうちごはん ～ごはん!? de クリスマスケーキ～	12月4日(土)	8組 16名	14組 28名	8組 16名		40代:50.0% 30代:37.5%	・アンケートでは「満足」87%「おおむね満足」13%と満足度が高かった。 ・子ども主体で料理をし、出来ない部分は父が行う等お互いが助け合いながら参加者全員が楽しく料理ができ、笑顔溢れる講座となった。	・募集開始3日で定員となり講座の人気の高さを伺えた。前年度参加者2組が今年も応募していたが定員に限られている為、過去に参加した事がある方には遠慮して貰うように次年度は検討したい。 ・従来の「区民交流センター」はワクチン接種会場の為に使用できず、初めて「勤労福祉会館」料理室を使用した。定員は30名だが父子8組と講師・事務局合わせた22名が程良く感じられた為、コロナ感染症明けに会場を選定する際は留意したい。
7	区民企画講座 「あなたが貴女らしく生きる～そして親亡き後、子どもをどうするか、知的・発達障がいの子を持つ貴女へ」	10月14日(木)	20	14	11		60代:45.5% 50代:27.2%	・講師も含めて同様の境遇の参加者である為、熱心に聴講している様子が伺えた。 ・講座終了後も講師に個別に質問をする参加者も多く、自分らしい人生の送り方を考える大切なテーマであったと思える。	・障害を持つ子供のケアは主に母親が担う事が多く、性別役割分担意識による根深い慣習を意識させる貴重な内容であった。 ・「もっと質問したかった」「講師に具体的な相談をしたい」との声を多く聞いた企画団体からは、悩みを打ち明けられる仲間がいる、少しでも安心感を持って貰って講座を開催した意義を達成できたと感じたという感想があった。
8	オンライン男女共同参画基礎講座 「選択的夫婦別姓」ってなあに？ オンライン開催	9月29日(水)	20	22	19		60代:33.3% 70代以上:25.0%	・大学生、高校生や男性等幅広い年代からの参加があった。 ・参加動機は「選択的夫婦別姓に関心がある」100%、「男女共同参画について学びたかった」58.3%他、「オンライン開催だから」50.0%(複数回答可)の回答があった。	・「選択的夫婦別姓制度」は多様性を尊重する社会に結びつくという講師の話が印象的だった。 ・日本における夫婦同姓の法制度、選択的夫婦別姓とはどのようなものか、世界の法制度の現状や今までの司法・国会・世論等の動向等、講師の説明が的確で非常にわかりやすかった。
9	地域活動や情報コミュニケーションのためのSNS講座 ～LINEの基礎から活用まで (2回開催)	5月22日(土)	各15	46 (延)	25 (延)	0	60,80代以上: 36.4%、70代: 27.2% 70代:46.2%、 60代:30.8%	・初の講座の為、午前はWi-Fi接続、機種やアプリのDL等の対応で多くの時間が割かれた。それを踏まえ、午後は講座開始前に受付が済んだ参加者から接続等の対応を事前に行いスムーズに進行した。主催者側としても講座の持ち方について学習の機会となった。	・講座の後半で質疑応答の時間を多く取り、個々の悩みに答えるようにした。 ・申込者が多く、キャンセル待ちとなった方々を対象に同じ講座の実施を検討したい。
10	地域活動や情報コミュニケーションのためのSNS講座 ～LINEの基礎から活用まで(フォローアップ)	7月4日(日)		19	11		80代以上:40% 50,60,70代:20%	・講師が前回よりボリュームアップした資料を作成した為、2回出席した方々の理解が深まったようだ。	・前回5/22開催時に、もう一度受講したい旨の希望とキャンセル待ちの方が多く、「フォローアップ」として呼びかけて開催した。

第5次計画目標	事業名	実施日	定員(名)	申込数(名)	参加者数(名)	保育(名)	主な年代	アンケート評価・分析	まとめ
11	地域活動や情報コミュニケーションのためのSNS講座 ～ZOOMの基礎から活用まで (2回開催)	6月6日(日)	各15	60 (延)	27 (延)	0	70代:71%、60代:29% 70代以上:50%、50代:25%	・参加者のスキル・持ち込み機器の状態の違いで、個々の対応が多く求められた。 ・5月開催の講座を参考にWi-Fi接続・予備機器を準備した為、対応がスムーズに行えた。	・ZOOMの使用方法ではなく、スマートフォンやPCの基本操作がわからないという方も多かった。女性対象のPC講座はあるが男性のPC講座も開催してほしいとの声が多かった。
12	地域活動や情報コミュニケーションのためのSNS講座 ～ZOOMの基礎から活用まで(フォローアップ2回開催)	7月4日、18日(日)		26 (延)	14 (延)		70代:50%、60代:38% 60代:40%、50,70,80代以上:20%	・高齢者の多様なITスキルアップ支援は、センターのオンライン事業開催にも関わるので今後も実施したい。 ・2回出席された参加者は理解が深まったようだ。	・前回6/6開催時に、もう一度受講したい旨の希望とキャンセル待ちの方が多く、「フォローアップ」として呼びかけて開催した。
13	オンラインで学ぶ「ファシリテーション講座～スムーズ！満足！効果的な話し合い～」(4回連続講座) オンライン開催	1月20日(木)、27日(木)、 2月3日(木)、17日(木)	30	39	114 (延)		50代:28.6% 40,60代:25.0%	・講座に初めて参加した方が75.0%と多く、オンライン開催だったからと回答した方が多かった。様々な開催方法により認知度が上がると考えられる。 ・アンケート回収数が、対面式での講座に比べると少ない。オンライン開催での課題だと思われる。	・Zoomの操作に不安がある方は申し出てもらうよう案内していたが希望者がいなかった。多くの区民がZoomに慣れてきたと感じた。 ・毎回、ブレイクアウトルームによるグループワークで話し合いの実践を行ったが、どのグループも熱心に取り組んでいる様子が伺えた。
14	出前ミニ講座：R2年度「オトコの暮らし力アップ講座」 フォローアップ 「『ジェンダー』って『ナンダー』？」	4月18日(日)			5				・令和2年実施の「オトコの暮らし力アップ講座」のフォローアップ事業としての2回目で、1回目の参加者5名全員参加した。 ・希望を受けて出前ミニ講座「『ジェンダー』って『ナンダー？』」を行ったところ関心が高まり、3回目はミニ講座を受けた感想等を話し合う会とするとの事だった。
15	出前ミニ講座：生活指導練馬サークル 「男性だから、女性だからにこだわらず…ジェンダー平等な社会を目指して」	8月1日(日)			8				・利用団体「生活指導練馬サークル」の申し出により出前ミニ講座を実施した。
16	出前ミニ講座：にじいろ保育園 「ジェンダー平等の意識は幼児期から」	12月2日(木)			19				・利用団体「にじいろ保育園」の申し出により出前ミニ講座を実施した。
17	区民企画講座 「こんなに身近!? 知らない? 大変!? 子育てママパパこそ知りたい『政治』の話」 オンライン開催	6月27日(日)	50	9	8		30代:50.0% 40,60代:25.0%	・内容の充実した講座であったようで、投票の重要さや多様な議員の必要性を参加者に認識して貰えた。 ・政治は他人事ではなく自分事であり、各自の行動で変化を齎すと気付いて貰う為、一人でも多く参加ができる工夫が必要。	・思うように参加者が増えなかったが、団体の知人やネットワーク等を通じて周知する努力は見られた。 ・企画団体からは講座を通し、子育て世代の当事者が政治参加する重要性を感じて貰えたと報告があった。
配偶者等暴力被害者への支援と性暴力やハラスメントの防止									
18	パパの抱っこでHAPPY子育て！ベビーダンス	11月13日(土)	10組 20名	7組 16名	6組 12名		30,40代:50%	・募集期間が短かった。又はコロナを恐れてか申込者が定員に満たず、当日は子供が体調不良で欠席した父子もいた。 ・終了後の意見交換では、子育てに関する悩みやママへのサポートの仕方が不明、地域交流が図れていない等の感想があり父親同士の交流を促す機会がない事がわかった。	・ベビーダンス協会による同時開催実施の各地を繋いだオンライン講習会(Zoom)が講座時間内にあり、全国中継でえーるも紹介された。 ・父親は地域交流が少なく、子育てや夫婦関係など家族の事を相談する場所がない等の課題が見えてきた、今後の講座開催の参考にしたい。
19	えーるスクエア 親子で学ぶ生と性講座 ～思春期のこころとからだ～	11月20日(土)	20	17	12	0	40代:70.0% 30代:20.0% 子ども:小学6年生のみ	・「また開催してほしい」「子どもにも参加させたいので、同様の講座を希望する」という感想もあり、テーマの重要性を再認識した。	・参加対象を小学5年生～18歳までの子どもと保護者(一人参加も可)として募集したが、子どもの参加者が少なく、今後、同様の企画をする場合は対象者の検討が必要と思われる。
家庭・職場での男女共同参画とワーク・ライフ・バランスの推進									
20	オトコの暮らし力アップ講座 ～パパと赤ちゃんのゆったりヨガ～	3月5日(土)	10組 20名	19組 38名	9組 18名	0	30代:56% 40代:33%	・男性が楽しんで育児参加できる1つの方法を提供できた。 ・同世代の子どもを持つ親として、意見交換の場を持つことができた。	・ベビーヨガ体験後、講師を交えて父親同士の交流を図り、家庭での家事シェアについて意見交換を行った。 ・1歳過ぎの子どもたちが講座中歩き出してしまい、パパのヨガが集中できなかったとの意見があった。次回開催する場合は対象年齢を3カ月～1歳児にした方がよいと思われる。
21	区民企画講座 「パパと遊ぼう げんきいっぱい親子体操」	9月12日(日)	15組 30名	12組 25名	9組 20名		保護者の年代不明、子ども:3歳(60%)	・アンケート回答は「とても良かった」7名で高評価だった。 ・初めてセンターを利用した回答が7名中5名、子育て中の保護者のセンター利用のきっかけになったかと思われる。	・母親の参加、また子どもも兄弟での参加もあった。 ・体操実技だけでなく、親子の触れ合いの重要性を動画鑑賞する事で説明ができ、講座内容に工夫が見られた。
22	区民企画講座 「0歳からのコンサート with リトミック」	3月13日(日)	10組 20名		開催中止				・開催日前日の3月12日(土)に講師の家族が発熱。大事を取って、3月13日の開催は中止とした。 ・令和4年度の実施として延期。開催日は5月1日(日)に決定。

第5次 計画 目標	事業名	実施日	定員 (名)	申込数 (名)	参加者数 (名)	保育 (名)	主な年代	アンケート 評価・分析	まとめ
23	えーるキッズエンジョイサマー 「Le'sちゃれんじプログラミング オリジナルゲームができちゃった!？」(4回開催)	7月31日(土)AM・PM 8月1日(日)AM・PM	各10	41 (延)	39 (延)		7/31 3年:8名 4・5年:各1名 8/1 3年:5名 5年:3名 3年:4名 4年:3名 4年:4名 5年:3名	・アンケートからプログラミング経験がある子供達からも講座内容が充実していた事が伺えた。 ・作成したゲームをUSBに保存して持ち帰る事で、家族でプログラミングを共有できる機会ができた。	・既に経験がある子供も数人いたため、次年度はタイトルに「はじめての～」という文言を入れ、未経験の子供達を対象にすべきを検討したい。
24	夏休み上映会 「くまのアーネストおじさんとセレスティーン」(2回開催)	8月28日(土)	各20	44 (延)	25 (延)	0	10代以下:63% 30代:13%	・子どもだけでなく大人にも好評の上映会だった。 ・夏休みの子供にコロナ禍でお出かけの思い出を作っておあげられない為、上映会を喜び保護者が終了後に事務局へ御礼をしてくださった。	・コロナ禍であり、小さなお子さんが多く参加するので会場前側を子供用の椅子、後側を大人用の机と椅子にして一定の間隔を保ち上映会を行った。 ・コロナの影響が午前は無断欠席が多く、開催する旨を事前に電話・メールで連絡をして参加の確認をすべきであった。
25	区民企画講座 「親子で楽しく算数で遊ぼう!!」	7月17日(土)	20組 40名	19組 43名	18組 47名	1	30・40代:47.6% 無回答1名	・アンケートは保護者のみ対象(23名中21名の回答)「かなり満足」6名「満足」6名「やや満足」3名の回答があり合計71.4%であった。 ・センター利用が初めてとの回答が10名(47.6%)あった。	・両親の参加や兄弟姉妹での当日参加もあり、申込者数より参加者数の方が多くなった。 ・企画団体から算数に関する関心が高い事を感じたという報告があった。
26	今の家事そのままイイ? ～家族が笑顔になる「家事シェア」のヒント!～	2月27日(日)	20	16	10	2	30代・60代以上: 各30% 40代・50代: 各20%	・具体的な家事シェア方法が提示されなかったため、満足度が少し下がる傾向があった。(満足70%、おおむね満足20.5%) ・講師の過去の家事シェアの貴重な経験談を伺い、さらにグループワークでは活発に意見が出て、他家族の家事シェアを共有することにより、充実した内容の講座であった。	・男性講師のため、男性の持つ家事イメージを女性立場から理解することが出来、これからの家事シェアのヒントに出来たが、男性の参加率が少ないため、今後の課題と思われる。 ・コロナ感染症を理由とする事前欠席者の連絡が相次いだ。(理由:濃厚接触者となったため、コロナ感染を危惧する、ワクチン接種による体調不良)
27	若年女性のためのわたしの「これからライフ」2021-Part 「ゆるヨガ女子会」(3回開催)	4月18日 5月23日 6月20日 (日)	各20	48 (延)	25 (延)	3 (延)	20～50代以上:各 22% 20代:40% 40代:30% 20代:66% 30・50代:16%	・交流の場で悩みを打ち明ける事で参加者同士が共感 自分だけではない 心が軽くなる様子を目の当たりにし、「生きづらさ」を抱えた方をフォローする事業は当事者に大切な場の為、継続な実施の必要性を感じた。	・「ひきこもりの状態にある女性」と明記した結果、今まで参加した事のない「生きづらさを抱えた女性」と思しき応募者が多数。「若年女性」と掲載したが申込段階で40代後半以上の申込者も多く、対象年齢を口頭・メールで伝えた結果、辞退された方が4名いた。 ・個人的な悩みを打ち明けると講師が優しくアドバイスし、他の参加者も自分の経験を話す等、和やかな交流会となった。
28	若年女性のためのわたしの「これからライフ」2021-Part ゆるヨガで「私の身体と向き合おう」(3回開催) 2/6未実施のため集計は2回分 アートセラピーで「私の心のバランスを整えよう」 アサーティブコミュニケーションを学び 「私も相手も尊重して素敵な関係を築こう」	10月31日(日) 11月25日(木) 2月6日(日)	各20	20 (延)	14 (延)	0	10月 30代:80%、40代: 20% 11月 30代:75%、40代: 25%	・終了後の交流会を通じ改めて「生きづらさ」を抱えた方をフォローする事業は当事者にとって大切な場であり、今後も継続的に実施する必要性を感じた。 ・終了後の交流会では個人的な悩みを打ち明けると講師が優しくアドバイスしたり、他の参加者がそれぞれの経験を話す事で様々な経験を共有でき、安心して自分を語れる場になってきた。	・コロナ感染の危惧を理由とする事前連絡の欠席の他、無断欠席者が複数あった。 ・今年度から区報募集欄の対象者に「ひきこもりの状態にある女性」と明記した結果、今まで参加した事のない「生きづらさを抱えた女性」とみられる応募者が多数いた。 ・参加者の要望に応じて今回初めて平日開催とした。予約者数は休日開催と同様、今後も平日と休日を組み合わせたい開催日程を検討していきたい。
		11月9日(火)	20	9	8	1	40代:50% 30代:37.5%	・休憩中や終了後に講師への質問が多く講座の人気の伺えた。質問内容を講師に伺うと「色の意味やパワーの質問の他、悩みを抱えた方が多いと感じた」との事だった。生きづらさを抱えた方々にはカラーセラピーは癒しとなる為、今後も継続して開催していきたい。	・A4の白紙に色鉛筆・クレヨンで自由に描き、現在の心理状態と未来の展望を色によって診断する他、ストレス発散の為「好きな色を白紙に思いのまま乗せる」ワークを行った。また色には様々なパワーと癒し、心理状態によって選択する色に現れる事を学んだ。 ・描いたものを全員でシェアし、個人の想いをグループワークで語った。
		1月18日(火)	20	18	9	2	40代:37.5% 30代:25%	・講座終了後に複数名が、講師に個人的に質問をしていた。内容は「職場・家庭」でのアサーティブを向上したいという内容であった。	・講義終了後の交流会にて、日々の生活でのアサーティブの活用・向上について共有した。そのなかで講師へ質問し、課題解決した方もいたようであった。
29	区民企画講座 「ポスターから聞こえる 世界の女たちの叫び」	10月16日(土)	30	38	34	0	70代:35.0% 60代:30.0%	・10枚のポスターを会場内に展示し、どのポスターも見応えがあったようでアンケートの感想も好評であった。 ・回答者20名のうち、13名が友人や知人から聞いて知ったという事で団体による告知の努力が伺えた。	・申込者が中々増えないと報告があったが緊急事態宣言解除の為、当日までに定員を上回る申込みがあった。 ・企画団体から講師の講演内容がとてもわかりやすく、アンケートの回答も高評価で良かったという報告があった。

第5次 計画 目標	事業名	実施日	定員 (名)	申込数 (名)	参加者数 (名)	保育 (名)	主な年代	アンケート 評価・分析	まとめ
30	女性のためのプチ起業講座 “やってみたい”をカタチにする ～得意なこと、好きなことで起業～ (3回連続講座)	10月1日、15日、 29日 (金)	20	31	50 (延)	1	50代:40.8% 40代:32.7% 各回出席状況 が違ふ為、%は3 回平均値	・参加者の殆どが「起業するか検討している」、「いつの日か起業したい」という回答で漠然とした中での受講だった。自分の強みを見直すワークや、グループワークでの発表等が参考となる様子が伺えた。	・子育てや家事の経験を活かした女性ならではの起業に関する事例の他、個人事業主という自営型テレワーク等についても触れて貰った。 ・自分の「想い」や「夢」を「カタチ」にする方法として、等身大でできる起業について学ぶ機会となった。 【フォローアップ】 ・10月の講座最終回に交換の場として11月5日にフォローアップを行うことを案内、自由参加とする。 ・前半は参加者の自由な話し合いの場を提供、後半は職員が同席し、活動を広げる第一歩として区民企画講座への応募を紹介・概要を伝えた。 ・後日「ひよこ起業会」というグループ名で応募があった。
31	仕事と子育て等の両立支援！就職ミニ面接会	5月11日 (火)	10	12	9	0	30・40代: 各37.5% 20・50代: 各12.5%	・「子育てと仕事の両立に理解がある会社の面接会を希望」とあり、今後もハローワークとの共催で就労支援の必要性を感じた。 ・書類選考がなく面接に臨めるのは求職者にとって良い機会だと考える。	・緊急事態宣言でセンターが臨時休館となり、急遽ハローワーク池袋の会議室に変更しての実施。 ・区在住者以外で杉並区、西東京市からの参加者がいた。
32	子育て世代の就活講座 ～自分に合った働き方で就職！～	9月9日 (木)	12	10	7	1	30代:57.1% 40代:28.6%	・満足度は「満足」57.1%「おおむね満足」42.9%で合計100%となり好評であった。 ・マザーズコーナーを積極的に利用したいという感想もあった。	・今回は参加者7名全員が区内在住、現在ハローワーク利用中は4名だった。 ・今までのハローワーク就活講座に比べると申込者が少ないが、現在はハローワークの窓口に来る方も減少している影響もあったと思われる。
33	子育て世代の就活講座 ～社会保険や税金などの基礎知識～	12月2日 (木)	20	42	20	4	40代:66.7% 30代:27.8%	・社会保険や税金の制度は世帯状況で違いがあり、一度の話では理解しにくい部分も多くあるのか満足度が少し下がる傾向が見られた(「満足」33.3%「おおむね満足」38.9% 合計72.2%) ・講義冒頭に講師から今回の目的は「気づく」事、そしてその気づきを「行動に移す」事と説明があり、参加者からは「沢山の事に気づいた」という感想が見受けられた。	・申込受付から1週間程度で定員になりキャンセル待ちを受け付けた。ハローワークとの検討した結果、募集を増員したが開催日間際までポツポツと申込があり、再就職活動を始められる方が一時期より増えていると感じた。 ・参加者20名のうち雇用保険受給者は9名であった。今まではハローワークの窓口紹介からの参加者が多数いたが、今回は区報を見ての参加者が一番多かった。
34	人生半ばの女性応援講座「私を活かす就活作戦！」 (2回連続講座)	2月18日、25日 (金)	20	27	31 (延)	0	50代:47.1% 40代:35.3%	・満足度について、第1回が満足76.5%、概ね満足17.6%、第2回が満足100%となり、とても高評価であった。 ・講師がアウトソーシングで企業の人事を担っていることもあり、応募書類や面接時における採用する側の視点での話があり、参加者にとって役立つ内容であったと思う。	・申込者が多かったが、コロナ禍の対面式での開催、グループワークを行う事を考慮し、定員20名までの受付とし、以降キャンセル待ちで対応。ただ、当日の無断欠席者も多く出てしまい、残念であった。 ・同年代、就職という共通目的を持った者同士ということもあり、グループワークは活発に行われていた。また、講座終了後も会場に残って話しているグループも見られた。
35	就職活動や地域活動をしている女性のための パソコン超・基本講座 (3回開催)	5月19日(水) 7月11日(日) 10月17日(日)	各10	30 (延)	24 (延)	0	5月 50代:50.0% 40・70代:25.0% 7月 40代:3名 20代以下・50代:2 名 10月 70代以上:50% 50代:33%	5月 ・「基本から学べてよかった」「Fキーの使い方がわかってよかった」 「USBの使い方を知れたかった」等の感想があった。 7月 ・PCの基本操作を学べると初めて学生の参加があり、参加者の評価も高かった。 10月 ・PCの基礎を学べるという事で参加者の評価も高かった。	5月 ・これまでは初心者向け講座と謳っていた為、参加者のニーズやスキルに著しい違いがあった。これを踏まえて申込時に何を一番知りたいか、何がわからないか等をヒアリングし、それらの項目の説明を盛り込むよう講師に依頼した。 ・初心者向けに新規内容のテキストを講師に作成して貰った。 7月 ・受講者は10～70代と幅広い年代からの参加があった。 ・他のPC講座やSNS講座を受講し、基礎から学びたいと参加した方も多かった。 10月 今回はPCを触った事が無い70代の参加者がいて、アシスタントがつきっきりで指導したりと参加者のレベル格差が大きかったようだ。今後の超基本講座は 初心者方向け限定とする機会 講師以外のアシスタントを増員 レベルアップする連続講座を企画等、開催方法を検討していきたい。

第5次 計画 目標	事業名	実施日	定員 (名)	申込数 (名)	参加者数 (名)	保育 (名)	主な年代	アンケート 評価・分析	まとめ
36	就職活動や地域活動をしている女性のためのワード基礎講座 (3回開催)	6月16日(水) 9月12日(日) 12月9日(木)	各 10	40 (延)	25 (延)	0	6月 40代:50% 50代:50% 9月 50代:43.0% 40・70代:28.5% 12月 40代:43% 70代以上:29%	6月 講師及びアシスタントの丁寧な指導が毎回好評な為か、えーるへの好感度も高く他のPC講座への申込以外にも様々な講座への参加に繋がっている。 9月 自己流でPCを利用している方が多く、基礎講座は新鮮に感じさせるものだった。 12月 自己流でPCを利用している方が多く、「新たな機能を学べた」と参加者の満足度が高い講座だった。	6月 ・事務職の求人はWord・Excelが必須な為、Wordの基礎を習得すれば今後の就職活動に活かせるとの声も多かった。 ・前年度に引き続き講師:後藤さん及び、アシスタント:櫻井さんをお願いした。 9月 ・チラシや案内を作成する等、地域活動に活かしたいと参加された方が多かった。 ・当日欠席2名のうち1名は無断欠席だった、キャンセル待ちの方もいるので欠席する際は事前連絡のお願いを徹底したい。 12月 ・10名の参加申込に対して所用による辞退者2名、当日欠席1名であった。欠席する際は事前連絡のお願いを徹底したい。 ・チラシや案内を作成する等、地域活動に活かしたいと参加された方が多かった。
37	就職活動や地域活動をしている女性のためのエクセル基礎講座 (3回開催)	6月30日(水) 9月26日(日) 1月25日(火)	各 10	55 (延)	29 (延)	0	6月 40代:50% 50代:40% 9月 50代:40.0% 70代以上:20.0% 1月 40代:45% 70代以上:33.%	6月 ・修了後に講師とアンケートを見ながら振り返りの時間をもち、前年度の講座配分や時間割合を改編した為に効率良く、よりわかりやすく内容を提供できた。 ・練習時間を多く取る事で参加者の理解度が高くなり、個別の質問に多く答えることができた。 9月 ・20～70代と幅広い年代の参加があった。若い世代は普段からスマホを使い慣れているが、PC操作は苦手な事で就活等に不安がある事がわかった。 1月 ・受講者の受講理由が、地域活動とされる方が増えてきている。 ・次年度では、地域活動でも使いやすい会計や予定表の作成方法なども取り入れるように検討したい。	6月 ・事務職の求人はWord・Excel必須な為、Excelの基礎を習得すれば今後の就職活動に活かせるとの声も多かった。 ・前年度に引き続き講師:後藤さん及び、アシスタント:櫻井さんをお願いした。 9月 ・申込者が21名で落選者も多く出した事から講座の開催時期や回数を検討したい。 ・他の施設等のPC講座を受講した方のリピート率が高く、当センターの講師及びアシスタントへの評価の高さが伺える。 1月 ・当日無断欠席が1名あった。欠席する際は、事前連絡のお願いを徹底したい。
38	就職活動や地域活動をしている女性のためのエクセル実践講座 (3回開催)	7月1日(木) 9月26日(日) 1月26日(水)	各 10	44 (延)	28 (延)	1	7月 40代:50% 50・70代:20% 9月 50代:50.0%、70代以上:20.0% 1月 70代:38% 40代:25%	7月 ・前年度の実践講座の内容を検討し、練習時間を多く設ける事でより理解度が高くなったとの声を頂いた。 9月 ・午前に基礎講座、午後は実践講座の受講を推奨した為か、参加者の理解が確実に手応えがあった。 1月 ・受講者の受講理由が自己学習のスキルアップに活かしたいという方が多かった。 ・地域活動の会計で使えるようになりたいとの意見もあり、次年度は例題などで対応できるか検討していきたい。	7月 ・事務職の求人はWord・Excel必須な為、Excel実践のスキルを習得する事で今後の就職活動に活かせるとの声も多かった。 ・受講者の年代は30～70代。 9月 ・高齢者向けの対応として、スクリーンの見やすさや講師に質問しやすい場所等を考慮していく必要がある。 1月 ・当日無断欠席が2名あった。欠席する際は、事前連絡のお願いを徹底したい。
39	就職活動や地域活動をしている女性のためのパワーポイント基礎講座 (3回開催)	7月25日(日) 11月4日(木) 3月13日(日)	各 10	58 (延)	28 (延)	0	7月 50代:44.4% 40代:22.2% 11月 40・50代:各30% 3月 40代:45% 50代:22%	7月 ・メール申込時にえーるからの案内が送信されないケースが2件あった。個々のスマホ設定によるものだが、案内送信後に返信してもらう為に対応が必要。 ・申込者27名と関心の高さが伺えたので次年度は開催時期や回数等の検討が必要。 11月 ・20～70代と幅広い年齢層の参加があった。 ・他ではついていけなかったが、えーるのパソコン講座は優しく教えてくれるのでよかったとの感想もあり、講師とアシスタントの評価の高さが伺えた。 3月 ・パワーポイントの操作方法を独学で行っていたという参加者も多く、テキストに沿って基本から操作方法を学べるといことや後藤講師及び櫻井アシスタントによる丁寧な指導などから高評価を得られている。	7月 ・参加者は30～70代と幅広い参加があった。 ・演習でえーるのパンフ作りを行いパワーポイントの機能を学ぶ他、男女共同参画の啓発にも繋がった。 11月 ・就職活動より地域活動で役立てたい参加者が多かった。 ・参加者のスキル差で個別対応が増えており、講座終了後に質疑応答の時間を設ける方がいいか検討したい。 3月 ・当日無断欠席が1名あった。欠席する際は、事前連絡のお願いを徹底したい。 ・新型コロナの感染予防として、実施会場を会議室から視聴室に変更した。
40	住みよい地域づくり 「地域活動デビュー!! あなたのチカラをまちのチカラに」	3月27日(日)	20	17	15	2	70代:46.7% 50代:20.0%	・講師の地域活動の始まりから現在に至るまでの体験談では、参加者それぞれの課題解決のヒントになったようである。 ・地域活動では男女に関わらず、助け合い、協力できる場であると再認識できた。	・募集当時は申込応募が伸び悩んでいたが、えーる窓口での声掛けや、地域活動をしている団体などに直接連絡をし15名の参加者を得ることができた。 ・前半は講師の体験談を聞き、後半のグループワークでは、各々が抱えている課題について意見交換などを行った。 ・講座修了後は名刺交換なども盛んに行われ、今後の団体同士の交流につながる機会となった。

第5次計画目標	事業名	実施日	定員(名)	申込数(名)	参加者数(名)	保育(名)	主な年代	アンケート評価・分析	まとめ
女性の健康と安心を支える暮らしの実現									
41	乳がんは40歳代後半がピーク?!～早期発見が命を守る子育てママのボレボレ塾公開講座	10月19日(火)	20	19	10	1	40代:40% 50代:60%	・乳がん当事者の講師による体験談は、検診による早期発見がいかに大切かを知る事ができる良い機会となった。	・五輪聖火ランナーに選出された講師の西貝さんから、オリンピックトーチを披露する場面があり盛り上がった。
42	区民企画講座 「おうち性教育始めよう～プライベートゾーンという言葉の使い方～」 オンライン開催	11月14日(日)	15	6	5		30代:80.0% 40代:20.0%	・講師の体験談がとても良い事例となり、今後どのような対応をしたらいいか理解しやすい内容で「満足」80%「おおむね満足」20%と満足度の高い結果となった。 ・参加者5名中4名が初めてセンターの催し物に参加した回答で、講座の冒頭で本講座がセンターの区民企画講座を実施している旨を団体から説明して貰い、センターの周知に協力して貰っている。	・企画団体から「アンケートで性教育という言葉がいかに先入観を与えているかがわかり、必要と感じていても何からすればいいのか、誰に聞けばいいのかわからない状況が多い印象を持った。講義後に自分事として考えた時の疑問点に対する質問があり、わかりやすく伝えられたのではと思っている。少しずつでも広めていく活動を引き続き行いたい」という感想があった。
43	区民企画講座 「自分に優しく！」セルフケアヨガ」	10月3日(日)	20	44	39	0	70代:32.4% 50代:24.3%	・「満足」78.4%「おおむね満足」18.9%という回答でとても高評価だった。 ・小学生の子どもとの親子参加や、80代の方の参加もあつたりと年代が幅広く、男性の参加者も数名いた。	・区報発行から2日程度で満員となり企画団体と協議した結果、同日同会場での2回開催とした。 ・企画団体からは「この状況下で思うように体を動かせていない」「椅子を使うなら自分でもできそう」等、申込時から多くの期待を寄せて頂き講座を開催できて良かった、年齢・男女問わず参加頂けた事も嬉しいという感想があった。
44	区民企画講座 「女性のための即興音楽活動～音楽によるリラクゼーション体験～」	7月18日(日)	20	15	11	0	50代:45.5% 40代:27.3%	アンケートの回答は「満足」10名「おおむね満足」1名と合わせて満足度が100%となり、感想もとても好評であった。	・昨年度も同様のテーマで実施したが集客に苦勞し、今年度は講座名を変更し(昨年度は対象者が限定されるイメージがあった)工夫をした様子が見受けられた。 ・実際に演奏して音楽づくりに参加し、聴くだけでは違うリラクゼーションを体験できた参加者が多かったようだ。企画団体からは、今回の企画で少しでも参加者の癒しの時間を提供出来たら嬉しいという報告があった。
45	災害と女性 「助かるためのカギ!!防災情報のつかみ方と使い方」	10月30日(土)	30	30	21	0	70代:35% 50代:30%	・質疑応答の時間を充分設け、受講者が普段感じている基本的な疑問を共有し、解決方法を学ぶ事ができた。 ・災害前・災害時・復興期に合わせた情報の受け取り方や使い方に違いがあり、各時期の情報の掴み方が重要だと認識したようだ。	・女性の参加者のみであったため、次年度は男性の参加者が増えるようにタイトルや募集要項を検討したい。 ・浸水が懸念される地域にお住まいの方たち自身で、防災対策を始めたとの話もあり、防災は地域活動の連携が大切と改めて感じた。
合 計					1,028	35			

平成24年度～令和3年度の講座参加者数などの実績

	講座参加者(人) (出前講座含)	区民企画講座参加者(人)	フェスティバル参加者(人)	出前講座(人)	保育数(人)
平成24年度	1,038	175 (4団体)	1,386 (講演会106人含)	119 (5回)	55
平成25年度	1,271	156 (4団体)	1,946 (講演会110人含)	81 (6回)	40
平成26年度	1,534	181 (6団体)	2,004 (講演会118人含)	76 (5回)	172
平成27年度	1,579	324 (8団体)	1,896 (講演会92人含)	222 (9回)	156
平成28年度	1,490	220 (8団体)	2,018 (講演会101人含)	246 (15回)	184
平成29年度	1,628	201 (8団体)	1,952 (講演会118人含)	180 (9回)	181
平成30年度	1,266	311 (8団体)	2,260 (講演会103人含)	121 (5回)	69
令和元年度	1,658	203 (8団体)	1,353 (講演会104人含)	173 (7回)	198
令和2年度	838	95 (4団体)	0 開催中止	65 (6回)	72
令和3年度	1,028	194 (9団体)	1,090 来館者数 + Zoomワークショップ参加者数 1,729 オンデマンド配信視聴回数	32 (3回)	35